



2009 ~ 2010 年度  
R I テーマ

The Future of Rotary Is in Your Hands  
ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー会長 ジョン・ケニー (国籍・スコットランド)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分  
ところ トキハ別府店 7F ぼたんの間  
TEL 23-1111  
事務所 別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 近藤 賢司	理事 大野 雅治	役員 会長 近藤 賢司	S A A 大野 雅治
〃 木村 きぬえ	〃 鳴海 淳郎	副会長 木村 きぬえ	直前会長 平野 英壽
〃 亀井 孝	〃 後藤 隆	幹事 高宮 勝美	
〃 村津 忠久		会計 河村 貴雄	

VOL. 22-32  
2010年3月16日

## 第 995 回 例会

会報委員長 森 宗明

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 我等の生業
- ◆唱 歌 春の小川
- ◆B. G. M 「101ストリングスの  
スクリーンミュージック」より  
慕情  
虹の彼方に  
ムーンリバー 他
- ◆ゲスト 辰野 有氏  
(立命館アジア太平洋大学スチューデントアクティビティ・オフィス)  
パントウシャート・シリパンさん  
(米山奨学生)

### ◆出席報告 出席委員長 梅津ヤヨイ

本日 の 出 席	会 員 総 数	19 名
	出 席 者	12 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
出 席	欠 席 数	5 名
	出 席 率	66.67 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	72.22 %
	事後メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	94.44 %
連 続		- 回
通 算		737 回 100 %

### 会長の時間

会長 近藤 賢司

一昨日、もみじ谷作業がありました。参加された方は大変お疲れ様でした。今回は今迄と違い大分合同新聞、今日新聞、ケーブルテレビ等を通じ、この奉仕作業を広報することになりました。広報はR.Iの方針でもあり、現在よりも知名度をあげていかなければなりません。

我クラブは20年間、市民の為にもみじ谷に植林をしてきましたが、ほとんどの別府市民はこのことを知りません。今は広報の時代です。より多くの人達にロータリーの奉仕活動を知ってもらい、今後の新入会員の勧誘にも役立てなければなりません。その為にも広報活動を続けていきたいと思っております。

### ・メイクアップ

事前 河村 (別府東)  
事後 平野、亀井 (別府東)  
桃園、大野 (もみじ谷)  
欠席 栂田、中尾、大島、津末、大野  
出席免除 溝部

### 幹事報告

幹事 高宮 勝美

### —識字率向上月間—

#### 1. 本日の卓話

「ゲスト卓話」

立命館アジア太平洋大学スチューデントアクティビティ・オフィス  
辰野 有氏



2. 本日のゲスト  
辰野 有氏(立命館アジア太平洋大学スチューデントアクティビティオフィス)  
パントウシャート・シリパンさん(米山奨学生)
3. 財)ロータリー米山記念奨学会より大島由美子  
会員へ米山記念奨学生のカウンセラー終了の  
感謝状が届いておりますので、本日まで披露し  
お渡し致します。
4. 財)ロータリー米山記念奨学会  
よりパントウシャート・シリパ  
ンさんへ米山奨学生終了の記  
念品が届いておりますので、  
本日お渡し致します。
5. 第7回臨時理事・役員会報告  
(平成22年3月9日(火)13:40～トキハ別府店例会場 7名)



**審議事項**

- 1) 「第1000回例会」の件。※承認  
日 時 平成22年 4月27日(火) 18:30～  
場 所 ホテル山水館  
会 費 7,000円  
※食事費より補助して不足分を徴収。  
※元会員へは全員案内を出す(会費は検討)
- 2) 2010学年度 ロータリー米山奨学生世話ク  
ラブ及びカウンセラーの件。※承認  
\*パニットナンタナクン ナッタニットさん  
(女/22歳/国籍・タイ/立命館アジア太平  
洋大学・アジア太平洋マネジメント学部4年)  
カウンセラー 中尾 誠会員
6. 3月9日(火) 18:30～ホテルニューツルタに  
於いて別府市内4RC会長・幹事会が開催され、  
近藤賢司会長、高宮勝美幹事が出席致しました。
7. 3月14日(日) 8:30～別府もみじ谷に於いて、  
「もみじ谷奉仕作業」を行いました。  
参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。  
当日の参加者は、近藤賢司会長、村津忠  
久、森 宗明、森園伸也、大野雅治各会員と  
寺西元亀氏(平野工務店)及び、陸上自衛隊  
曹友会・井出会長以下19名、コーラスグル  
ープ4名の計30名でした。
8. 委員会報告  
村津忠久社会奉仕委員長より
9. お祝い  
結婚記念日 中尾 誠会員(3月18日)  
※ご自宅にお花が届きます。  
配偶者誕生日 近藤なな子さん(3月17日)  
※記念品をお渡しいたします。
10. 例会変更のお知らせ  
中津RC 3月24日(水)の例会は、定款第  
6条第1節(C)に基づき休会  
中津平成RC 3月25日(木)の例会は、花見例  
会の為 同日18:30～蓬萊観へ時  
間・場所変更

11. 次週例会の予定  
「創立21周年記念卓話」鳴海淳郎会員  
「会員コラム」近藤賢司会員
12. 本日の回覧  
①「花見例会」出・欠席(4月6日(火))  
②「湯布院・別府中央RC合同親睦ゴルフコ  
ンペ」出・欠席(4月11日(日))  
③「別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会」  
出・欠席(4月25日(日))  
④くにさきRC 週報
13. 本日の配布  
①ロータリー探究「[スマイルボックス]に  
ついて」鳴海淳郎R情報委員長より  
②週報 No.994

**スマイルボックス 委員長 中尾 誠**

- 近藤会長  
暖かい春がやってきました。私にも球春の  
到来!! ゴルフ再開です。皆さん、4月の別府  
近隣7RCのゴルフ大会団体優勝を目指して、  
go goで頑張りましょう。
- 木村会員  
辰野有さん、いらっしゃいませ。立命館から  
初めての来賓客です。中央ロータリー、人数は  
少ないけれど頑張っています。  
もみじ谷出席出来なくて申し訳ありません。  
出席の方、お疲れ様でした。
- 鳴海会員  
先日のもみじ谷作業は、気ばかりあせって病  
後の回復が思うにまかせず、残念ながら欠席し  
ました。出席された皆さんのご苦勞に深謝して  
スマイル致します。
- 村津会員  
先週金曜日夜、音の泉ホールでの塩地さんの  
「ピアノリサイタル」は盛会で、演奏も大成功  
でした。御來場のみなさん感謝です。  
モミジ植樹、先程の委員会報告の通りです。  
心配した天候にも恵まれました。感謝してスマ  
イル。
- 森園会員  
APUの辰野様、ようこそ。本日の卓話、宜  
しく願います。
- 平野会員  
先日のもみじ谷奉仕作業は出席できずに申し  
訳ありませんでした。東京でゆったりと寝てい  
ましたら、朝6時に村津さんからTEL。苗木  
のそえ竹がない。早起きの東京でした。  
今日はちょっと早めに帰らせていただきます。

**社会奉仕委員会報告**

**委員長 村津 忠久**

3月14日(日)、「もみじ谷植樹」は予定通り実施された。

天候は薄曇り、気温11℃。

8:25より準備体操の後、作業開始式。

筑浜直・市農林水産課長が浜田市長のメッセージを代読、井手曹友会会長、近藤別府中央ロータリークラブ会長の挨拶の後、私が作業実施要綱を説明、作業現場へ。

2月末、農林組合の後藤班が300本を既に植樹済みなので、本日の植樹150本を併せ、本年度の植樹本数は450本となる。

1990年の第1回植樹からの累計本数は、9,393本となった。内、約半数が育成していると思われる。

奉仕作業参加者は、近藤会長、平野(代理・寺西氏)、村津、森、森園、大野、各会員とコーラスグループ4名、陸上自衛隊曹友会・井手会長以下19名、市農林水産課長の計・30名。

作業終了後、例年のように、「早春賦」と「花」を気持ちよく皆で高唱して散会した。



**卓 話**

**立命館アジア太平洋大学 (APU) の概要**

立命館アジア太平洋大学学生アクトイテビティ・オフィス 辰野 有氏  
2009年11月1日



**1. 大学名、設置者等**

- (1) 大学名 立命館アジア太平洋大学
- (2) 設置者 学校法人立命館(大分県、別府市との公私協力による)
- (3) 設置場所 大分県別府市十文字原1-1
- (4) 開学年度 2000年4月(1999年12月文部省設置認可)
- (5) 学部、大学院構成 アジア太平洋学部(APS)  
国際経営学部(APM)(2009年度4月よりアジア太平洋マネジメント学部より名称変更)  
クロスオーバー・アドバンスト・プログラム(CAP)  
(大学院)アジア太平洋研究科、経営管理研究科

**2. 学生定員 (2007年11月1日付)**

(学部)

入学定員: 650名 × 4学年 = 2,600名 (APS) ※2006年度より増加  
 入学定員: 600名 × 4学年 = 2,400名 (APM) ※2006年度より増加  
 収容定員 5,000名 (2005年度までの収容定員 3,790名)

(大学院)

アジア太平洋研究科 修士課程: 60名 × 2年 = 120名  
 アジア太平洋研究科 博士課程: 10名 × 3年 = 30名  
 経営管理研究科 : 40名 × 2年 = 80名  
 収容定員 230名  
 総収容定員 5,230名

※学生数: 世界96カ国・地域からの国際学生2,924名と国内学生3,235名の合計**6,159名**(国際学生比率47.5%)  
 (1回生~4回生、交換・短期留学生、大学院生)

**3. 教職員体制 (2009年4月1日付)**

- (1) 教員・・・165名、外国籍教員約40% (24カ国・地域64名)
- (2) 職員・・・187名 (契約職員含む)

**4. 大学の理念**

「自由・平和・ヒューマニズム」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」

**5. 教育システムの特徴**

- ・年2回(4月、9月)の入学制度
- ・2言語教育(同じ科目を英語、日本語のどちらでも受講可能)



- ・協同学習システム（＝ピアシステム：国際学生、国内学生との教えあい・学びあい）
- ・現地参加型学習「アクティブ・ラーニング」（フィールドスタディ、海外言語研修、交換留学など）

## 6. 進路支援

- ・キャリア開発プログラム（1回生から進路・就職への支援、インターンシップ、トップ講演会14回開催）
- ・2001年11月「立命館アジア太平洋大学 企業各位と大学・学生との懇談会」（於：東京・大阪・福岡）
- ・2002年11月「ようこそAPUへ」81社105名の人事担当者様が来学
- ・オンキャンパス・リクルーティング（04年度164社、05年度266社、06年度282社、07年度387社、08年度370社）
- ・2008年度就職内定率 全体95.6%、国内学生95.3%、国際学生96.2%（2009年3月31日現在）

## 10. 多角的ネットワークの構築

- （1）大分県、別府市との公私協力、地域とのネットワーク
- （2）アドバイザー・コミッティ：各国首脳、大使、企業人等322名（2009年11月1日現在）
- （3）海外協定大学・研究機関：380（57カ国・地域）/交換留学：世界36カ国・地域 105大学（2009年4月1日現在）
- （4）海外協定中等教育機関：300以上
- （5）アカデミック・アドバイザー：52名（2009年1月1日現在）

## 11. キャンパス・施設、その他

- （1）校地：41.6ヘクタール、主要な建物13棟ほか（延べ床面積：99,035㎡、約3万坪）
- （2）学生住居：APハウス、クレオハイツ、民間住宅（立命館出資の関連会社「クレオテック」が窓口となって斡旋）
- （3）県・市との連携：県住宅保証制度、大分国際交流会館、留学生奨学金の拡充・新設、市営住宅提供等  
地域との交流：大分県と県内外11市町村・地域と友好交流協定を締結  
（豊後大野市三重・佐伯市・臼杵市・別府市・長野県飯田市・中津市・日出町・国東市・日田市・由布市・杵築市）  
ホームステイ・ビジット、イベント参加、留学生支援、公開講座、委員・講師派遣等、市民等の見学、視察  
\*約150の越えるサークル、クラブ。年間延べ約1,000名の学生が市民との交流行事へ参加

## B. APUの歴史

- \*1994年 第5次長期計画策定をめぐる論議（大学の国際的使命）大分県での大学誘致構想
- \*1995年 9月 三者（立命館、大分県、別府市）によるAPU設置構想公表
- \*1996年 2月 APU設置期成同盟会設立
- \*1996年 5月 アドバイザリー・コミッティ設立
- \*1997年 4月 三者設置基本協定調印
- 10月 キャンパス造成工事着工
- 12月 大分別府事務所開設
- \*1998年 5月 韓国事務所開設
- 8月 建築工事着工
- 9月 APU文部省設置認可申請
- 12月 インドネシア事務所開設
- \*1999年 6月 APUからの提案（地域貢献策）発表
- 12月 文部省設置認可、竣工
- \*2000年 4月 開学／創設費：約300億円（県補助150億円、市補助42億円、土地は市からの無償譲渡）
- \*2003年 4月 大学院設置
- \*2006年 4月 ニューチャレンジに伴う新校舎建設着工（2007年3月竣工）／インスティテュート設置
- \*2007年 4月 APU孔子学院開設記念式典
- \*2009年 4月 アジア太平洋マネジメント学部を国際経営学部名称変更
- \*2009年 4月 書籍「立命館アジア太平洋大学誕生物語～世界協学の大学づくり～」を中央公論社より出版
- \*2009年 10月 APU開学10周年記念事業期間開始（2010年9月末まで）



## 会員コラム

大島由美子

### 端午の節句

五節句の一つの「ひな祭り」が終わると、次は「端午の節句」ですが、もともとは日本では女の子のお祭りだったそうです。田植が始まる前、早乙女と呼ばれる若い娘達が「五月忌」といって、仮小屋や神社にこもってケガレを祓い清め、田の神に対する女性の厄祓いの日でした。男の子祭りに

変わったのは平安時代からで、江戸時代に「端午の節句」に定められ、武者人形を飾るようになり、また中国の「龍門を登って鯉が龍になった」と言う故事にあやかっ、鯉のぼりを立てるようになり、五月五日は完全に男の子の節句になったそうです。

今回は、近藤賢司会員です。